

# Taketa City Gikai News

たけた 市議会だより

●竹田東部地域 .....	2
●竹田西部地域 .....	4
●竹田南部地域 .....	6
●竹田北部地域 .....	8
●荻地域 .....	9
●久住地域 .....	11
●直入地域 .....	13



第25回B&G財団会長杯争奪直入少年柔道大会

# 市民と協働の政策実現のために

議会改革調査特別委員会 委員長 渡邊 克己



平成25年に制定した竹田市議会基本条例の中で第5条「市民と議会の関係」（市民参加及び市民との連携）の第7項に「議会は、市民との意見交換会の開催等により、議会の活動に市民が参加できる機会を確保するとともに、市民の意見を反映させた政策提言の拡大を図るものとする。」と謳ってあります。このことを受けて、基本条例制定から毎年、「市民との意見交換会」を実施し、

出された意見・提言は、議会内に設置した「議政協議会」で十分議論を尽くし、提言書として市長に提出してきたところです。

本年も「市民との意見交換会」を旧竹田市内の東西南北の4か所で、更に荻・久住・直入の3地域の合計7か所において、3日間をかけ議員全員の参加の元に行われました。今までの参加者数ですが、例年全体で120人程度の参加があり、多い所では40名程、その他の会場では10名程となっています。

議会基本条例に謳う理想と、現実の参加者数の差をどのように無くし

ていけるのか、主催者としてどうすれば参加者を増やすことができるのか、大きな悩みとなっているところです。

今年も、参加者を増やす手段として、また皆様が発言しやすいように、あらかじめテーマを設定した中で実施することになりました。共通テーマとして「高齢者施策と地域社会のあり方について」、地域テーマとして「地域振興について」を決定し、事前に、議会だよりや告知放送により周知を図り実施しました。

大きく参加者増とはなりませんでしたが、共通テーマの「高齢者施策と地域社会のあり方について」を示したことで、高齢者が今の環境の中で生活するための課題が、より明確になったのではないかと考えます。「地域振興について」も地域ごとに抱える問題点が、それぞれ示されたのではないかと考えます。

今後、議会内で議論を尽くし、政策提言とすべき課題を決定して、「市民と協働の政策」として実現していきます。

## 竹田・岡本・明治・豊岡 地域

日時 ■ 平成28年11月10日(木) 午後7時～  
会場 ■ 竹田分館

参加議員



岩屋 千利 (班長) 和田 幸生 佐藤 美樹 後藤 憲幸 徳永 信二 山村 英治



# 竹田東部

East Taketa

### 共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

意見・質問等	意見・質問等への対応
市内の100歳以上の高齢者は何人か。また、その男女別の数は。	100歳以上の方は市内に40名います。男性5名、女性35名です。(平成28年11月末現在)
65歳以上の要介護者数と介護度別の人数は。	要介護1(416人)・要介護2(325人)・要介護3(267人)・要介護4(237人)・要介護5(186人)合計1,431人です。(平成28年10月31日調べ)
高齢者福祉施設の数と、受け入れ可能人数は。また、待機状態があるのではないか。	高齢者福祉施設8施設、その内、養護老人ホームは1施設、生活支援ハウスは2施設、特別養護老人ホーム5施設です。入所定数は333人、待機者数は約330人。待機者数には施設への重複申請が含まれています。
サロンや介護教室など色々ありすぎて理解しにくい、何か手立てはないか。	市や主催団体等に対し、実施内容や目的、日程など、わかりやすく参加しやすい体制づくりを要請します。
高齢者が安心して入れる施設が欲しい。南山荘がなくなって不安だ。	南山荘は、平成28年4月から民営化し、久住地区に移転しましたが、これまで同様のサービスが受けられます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
特養の待機状態を解消すべき。全国から施設入居を受け入れられるような規模の介護施設を造ってはどうか。	施設の新設は、市外からも利用者が見込めますが、その費用の大半は市の介護保険料に跳ね返ることとなります。新たな施設整備は、若い世代も含めた合意形成を図る必要があります。
公務員の退職者が知恵や経験を生かして、もっとまちづくりに関わってほしい。在職中から意識を持ってもらうようにできないか。	強制できませんが、人づくりの気風を促してまいります。職員OBにも呼びかけたいと思います。
65歳以上の就業率を上げてほしい。	超高齢化社会を迎えて、働く意欲のある高齢者が様々な分野で活躍できる社会環境づくりを進めてまいります。

## 地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
岡城跡で土産が買えないし、食事できない。トイレもない。	トイレについては駐車場に2か所、西の丸下に1か所あり、本年度秋に二の丸に1か所新設されました。食事や土産販売の機能は、中心市街地で補完できるよう回遊性を図ります。
竹田市街地における活性化対策は。	大分県と連携し、がんばる商店街総合支援事業として、魅力アップ研修を実施しました。また、空き店舗の利活用や起業支援を行い、今年度は数店舗が開業しました。このような取組を継続的にを行い、市街地の活性化を図っていくよう要請します。
大型バスが市街地に駐車できない。	大型バスの駐車場については、歴史資料館に3台、豊後竹田駅隣接駐車場に3台、岡城跡に6台分を確保しています。平成30年度に中九州横断道路の竹田インターチェンジの完成も見込まれていることから、街なかの駐車場整備についても計画的に進めるように要請します。
商工観光業と農業の連携による地域振興をしてはどうか。	商工会議所は、農業の6次産業化を支援、販路拡大を目的として、小規模事業者支援パッケージ事業を実施してきました。これからも商品のブランド化を進めるため、竹田市ならではの商品の開発と調査研究に努めていくように要請します。
臼杵や国東のように寺巡りツアーを企画してはどうか。	現在、寺めぐりのツアーはありませんが、各寺院や竹田市観光ツーリズム協会と相談し、寺巡りの商品化が可能かどうか検討するよう議会からも要請します。
市街地に宿泊施設がない。	市街地には、宿泊施設が4軒、周辺部を含めると旧竹田市内7施設あります。今春、空き家を活用した民泊施設がオープンします。
国東のような芸術祭を開催してはどうか。	竹田市にはTSG(竹田総合学院)を中心とし、多くの作家、工芸家が活動しています。アートカルチャーを毎年秋に実施し、中心市街地の活性化の一翼を担っています。地域住民と一体となった芸術、文化の取組ができればと考えています。
新文化会館の事業運営で、街歩きにつながるような企画ができないか。	新文化会館の運営については、ワークショップや勉強会を開催し、多くの市民の意見も伺いながら、方向を決めています。
まちづくり会社のおかげで、空き店舗が埋まりつつあるのがわかる。最近、若い人が街を歩く姿も増えてきているが、どのような取組をしているのか。	竹田市では、平成27年6月に城下町の活性化を目指した「中心市街地活性化基本計画」を策定し、国の認定を得ています。まちづくり会社は、その計画に沿い、主に城下町の空き店舗対策や起業・創業支援を実践し、少しずつではありますが街なかのにぎわい再生を図っています。

意見・質問等	意見・質問等への対応
施設をたくさん造ったとして、人口が減り、利用されなくなった後のことはどう考えているか。	竹田市は、中心市街地の活性化に向けた「城下町再生プロジェクト」構想を立ち上げています。議会としては、主要公共施設調査特別委員会を設置し、必要性を含め様々な面から精査を加えていきたいと考えます。
コミュニティセンターの建設計画が始まって、ずいぶん時間がかかっている。そのために立ち退いた人もいる。計画は速やかに実行すべき。	コミュニティセンターに関しては、新歴史資料館建設と併せて、設計監理業者を決定するにあたり、年度内にプロポーザル(公募型の企画提案)を実施することとなりました。平成30年度の完成予定です。
バルや楽市楽座のような、にぎわい創出のイベントをしても行政の関心が薄いようだ。	商工会議所青年部と商工観光課で企画した今年のバルは、盛況でチケットも増刷されたと聞いております。今後とも各機関が、情報や企画を共有しながらまちづくりを進めていくことは重要だと考えています。
竹田南高校や小羊保育園の通学路に危険箇所がある。以前から改修の要望を出しているが、その後どうなったか。	12月に発注し、本年度工事が完了する予定です。

### 【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

#### 【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 行政と市民の架け橋をすることは、すごく大変だと思います。それが使命なのかもしれませんが、市議さんの発信でもよいので、市役所の方々がもっと一緒に竹田のことを話せる場を作ってほしいです。
- 市全体を見渡した上で、施策に係る意見をいただきたい。地区固有の要望や課題を議論する場が議会ではない。
- 行政の近代化、民主化、責任
- 何かハコモノを造るのではなく、現在有るものを有効利用するような知恵ある提案。
- 高齢者の多い市だから、高齢者が安心して暮らせる町づくり提案。
- 報酬に見合うだけの活躍を期待します。市民の税で運営されている議会だから、あくまでも市民のための活躍！何かを造り、「アレは俺が造った」と自慢する声をよく耳にするから。

#### 【意見・希望等】

- 竹田のために、いつもありがとうございます。
- 参加者が少ないことが心配です。
- テーマに対する意見交換等について、各々意見が出たと思うが、テーマらしき要望とかあらゆる点について、更なる意見が望ましかった。今回、初めて参加しましたが、地区の大きさから見れば、出席者が少なかったのはどんなものかと思われます。市民の意識が希薄であるのかなと思うので、有意義な会になることを切望します。
- 部分的討論もよし。基本的な問題を深めたい。
- 年金(国民年金)で入れる老人施設の建設を！ そのためには図書館も文化会館も不要。または、同施設に併設されることを願う。
- お金をかけずに町を明るくする工夫を！ たとえば「竹楽」、「竹楽って何ですか?」と尋ねる県内外の人がいる。素直に読めば「竹が楽しむ」、本当に意味不明。もっと気楽に「恋する竹灯り」でいい。その他、「恋するチャンポン」。
- 道路に老人が安心して歩けるよう「路側帯を白線で」。それだけで自動車が注意してくれる。
- 閉鎖的な意見ばかりで、何の意味があるのか疑問が残りました。議会のビジョンや施策があるのなら、しっかり伝えて、それについて議論をすればいいと思いました。参加するメリットが見い出せませんでした。
- テーマがやや大き過ぎたので、もう少し項目があれば良かったかも。
- さらにテーマを絞って、「老人施設」あるいは「文化会館」などにしてほしい。



#### 玉来・松本・菅生 地域

日時 ■平成28年11月10日(木) 午後7時～  
会場 ■菅生分館

参加議員



阿部 雅彦 (班長) 佐田 啓二 坂梨宏之進 加藤 正義 渡辺 克己 鷲司 英彰



共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

意見・質問等	意見・質問等への対応
病院や買い物に行く手段に困っている人が多い。ジャンボタクシーのようなコミュニティバスで、集落の中まで入れることはできないか。また、便数等を増やせないのか。	高齢化による交通弱者支援については、ドア・ツー・ドア(自宅から目的地まで)の移送手段が必要と思われます。実現に向けて議論していきます。
コミュニティバスではなく、乗り合いタクシーは運行できないか。また、その予算措置等はないか。	地域公共交通会議やタクシー協会との協議が続けられているところです。議会も移送手段の研究をしています。
バス等の公共交通機関を残すために、バスを小型化するなどして、バスの本数を確保してほしい。また、国や県などにおいて助成金を獲得してほしい。	現在、国費と県費で約4,700万円、市費約500万円の助成により、公共交通機関の確保に努めています。

地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
放置された空き家の除草や家屋老朽化への対処の方法はないか。	修理や撤去に対する市の助成があります。除草については助成制度はありません。
介護施設に入居したくても、空きが無い状況である。さらに入居するための利用料金が高く、厳しい。改善策はないか。	介護度により、利用料金の基準があります。在宅介護の方向性で、国や県・市が施策を進めています。議会として、在宅介護できる環境づくりを考えてまいります。
菅生は畑作地帯である。野菜の無駄があるのが気になる。豊作であれば利益が出ないため、せっかく作った野菜を土に埋めることもある。野菜を捨てるくらいなら、フードバンクを利用したり、野菜の加工所を設置して給食等に利用できないか。	新たな加工所については、採算性から考えて設置は難しいと思われます。フードバンク等を利用した野菜の活用方法を考えてまいります。  ※フードバンク……食品の寄付を受け、無償で必要な個人や団体に提供するボランティア
共販と個人販売はどちらが得か、一言ではいえない。共販は地域のまとまりが必要となるが、そういう体制ができないものか。	販路が多様化しており、共販が難しい状況にあります。いずれにしても、価格の安定を目指した取組が必要です。
平成30年度に開通する中九州横断道路について、情報を教えてほしい。菅生のためには、現在の国道57号線に沿った形の地域高規格道路であってほしい。	地域高規格道路「中九州横断道路」は竹田インターチェンジまで、平成30年度内に開通する予定で、工事が進められています。なお、竹田から先のルートについては未だ決定されていません。
太陽光発電の規制が必要ではないか。ハウス園芸の近くのものについては、照り返しの心配もあり、対策が必要になる。	景観や排水などの環境への影響について研究し、規制の必要性について考えてまいります。
過疎が進み、外に働きに出ている人が多いが、働き場の確保はどうか。	企業誘致について、地理的要件もあり、難しい状況ですが、雇用の機会確保については、今後も、議会も努力してまいります。

その他

意見・質問等	意見・質問等への対応
議会の行政視察の成果は生かされているのか。また、研修の目的に合った担当職員は同行させないのか。	事前の研修を担当課と行い、研修後はその成果を担当課に伝えたり、一般質問にて提言したりしています。議員の研修と職員の研修とは区別しています。
避難準備・避難勧告・避難指示の違いについて、その内容を教えてほしい。	<p>◆「避難準備情報」とは……人的被害が生ずる災害発生の可能性がある場合、その地域に住む高齢者等、避難に時間を要する住民等に対して、市町村長が避難を促すために発表される防災情報。 ※なお、現在は「避難準備・高齢者等避難開始」に名称変更(昨年12月改正)</p> <p>◆「避難勧告」とは……災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に、その地域に住む住民に対し市町村長から発令される防災情報。</p> <p>◆「避難指示」とは……状況がさらに悪化し、災害による人的被害の危険性が非常に高まった場合や、人的被害が発生した場合に市町村長から発令される、避難勧告よりも強制力の強い防災情報。</p>
ケーブルテレビの現在の加入率はどのくらいか。	テレビ放送サービスの加入率は、開局時の72%から現在78%に、インターネットサービスの加入率は、開局時の18%から31%にそれぞれ増えています。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 地域の声を市政に反映させてほしい。

【意見・希望等】

- なし

# 竹田南部

South Taketa

**入田・姫岳・宮砥 地域**

日時 ■平成28年11月14日(月) 午後7時～

会場 ■宮砥分館

参加議員



渡辺 克己 (班長)   坂梨宏之進   加藤 正義   日小田秀之   鷲司 英彰   佐藤 美樹



共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
竹田の高齢化率は全国に比べてどうか。	全国の中でトップクラスにあります。高齢化率43.9%です。(平成28年12月末現在)
テーマが大きいので、もっとかみ砕いて設定してはどうなのか。	地域の高齢化に対して何が一番の課題であるのか、またどのような問題があるのか、議会と行政共に話し合い、施策に反映したいと考えています。多くの意見をいただく機会と考えています。
消滅した集落があると聞く。地域コミュニティが崩壊しているのではと感じる。	地域と行政と議会が情報を共有し、集落の維持が続けられるように、早期に取り組んでいきます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
<p>コミュニティバスについてのアンケートが実施された。実際にバスの利用者にアンケートをすべきで、車の運転をしている者へのアンケートでは意味がないのではないかと。</p>	<p>デマンドタクシーの導入を検討しており、その事前調査として、今回、自治会長などにアンケート調査を行ったものです。</p> <p>※デマンドタクシー……要望に沿い、自宅や指定の場所から目的地まで、安価な料金で運行する予約制の公共交通サービス</p>
<p>買い物代行や独居老人への声かけ等も視野に入れて、既存の移動販売事業者に補助金を出し、希望する物資を自宅まで配送することができないかと。</p>	<p>移動販売車の活動の可能性については、研究してまいります。</p>
<p>生協が個人宅まで配送を実施している。高齢者が見やすいパンフレット作りや、発注の簡素化など生協に要望してはどうか。</p>	<p>実現性について研究します。</p>
<p>四国の移動スーパー（とくし丸）を参考としてはどうか。 市が補助をし、地元の事業者の販売車数を増やし、若年者の雇用の場としても考えてはどうか。</p>	<p>四国の事例について調査し、竹田市において活用できるか研究します。</p>
<p>移動販売車の新規参入には、保健所の許可をはじめ、ハードルが高いと聞かざるがどうか。</p>	<p>新規参入について、保健所の許可があれば事業は可能です。</p>
<p>コンパクトシティの推進が考えられるが、議会はどのように考えているのか。</p>	<p>コンパクトシティの推進も一考ですが、市内の全ての問題が解決するものではありません。同時に住民の希望として、現在の居住地での生活を望む人が多くいる現状があります。</p>
<p>祭りや農道の維持管理が高齢化によりできなくなった。敬老会の主催者も高齢者である。地域で生きていくことを話し合う協議会等の組織づくりができないかと。</p>	<p>自治会や地区社協において改善が図られるよう望みます。</p>
<p>暮らしのサポートセンターやおしゃべりサロン、生きがいサロンなど数が多い。利用者は同じメンバーであり、利用者が負担に感じている状況である。開催方法等を考え、整理してほしい。運営のボランティアにも負担が大きいし、ボランティアにも報酬の支払いが必要ではないかと思われる。</p>	<p>市と竹田市社会福祉協議会に、この問題の整理について、検討を要請します。</p>
<p>高齢者に負担の少ない農作物はないか。軽量野菜の産地づくりに取り組んでどうか。</p>	<p>アンテナショップ等への出荷を目的とする小規模ハウスに対する助成等、高齢者の農業生産への補助制度があります。</p>
<p>ユネスコ・エコパークの認定に備えて、トレッキングコースを整備した。交流人口を増やし、椎茸等産品の有利販売をし、地域の活性化をしていきたい。</p>	<p>認定が29年度の8月頃と聞いています。認定に際しては、地域の取組が重要と思われます。行政が地域と一体になった取組を進めていくように要請します。</p>

## 【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

## 【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 全てにクリア、クリーン、オープンな竹田市議会であってほしい。その意味において、今回の市議会だよりは、議員個人々の政務活動費の使途状況の概要が示され、大きな情報公開への一歩ではあると思うが、まだまだ物足りない感を否めない。
- 行政に申す議会であってほしい。本当に必要なものが見極めてほしい。意見交換会もですが、各々の現場に出かけていって、その場で声を聞いてもらいたいです。(農業、子育て、学校等々)
- 年1回くらいの意見交換では少ない。定期的にやれば良いのでは。
- 今後、竹田市の20～30年後を担う世代の意見を吸収し、将来の政策提言に活かす。

## 【意見・希望等】

- 市民との意見交換会で、このようにアンケートを取るのであれば、出席者(市民)の側にも机が欲しいと感じました。椅子だけでは記載が出来ません。これまで、荻会場や入田会場にも出席したことがありますが、荻会場では机も配置されていたし、筆記具までも準備されていました。筆記具はともかく、最低限、机の配置はお願いしたいものです。
- エコパーク宮砥瀬の口の山本ホテルのあとに、エコパークガイダンスセンターなど、祖母山系の動植物や豊かな自然とふれあうためのサポートセンターを造る。地域の特産物販売、食事もでき、雇用も可。地域の居場所やふれあいの場にもなる。
- 高齢化:白水、あ祖母学舎に、支援者(その地域の65歳未満の人)を置き、買い物の情報をつなぐ。地域へは出掛け、生協のカatalogを一緒に見て買入手続きをする。
- 「とくし丸」という移動販売車を提供する会社があります。そこを真似しながら、フジヨシさん、阿南さんをサポートし、営業拡大をしてはどうでしょう?
- 具体的に移動販売車を増やす。「1年後に3台増やす」。その雇用・求職情報を都会に出してはどうでしょう?
- 生産年齢増と地域高齢化を少しでも防ぐことを視野に。
- ふるさと納税。
- テーマを決めると、自ずと市への提言のテーマが決まってくるのではないかと思う。
- 事前にテーマを知らせてもらい、意見を集約しておいて、答えや交換をした方が良かったのではないのでしょうか?

# 竹田 北部

North Taketa

## 宮城・城原 地域

日時 ■ 平成28年11月10日(木) 午後7時～

会場 ■ 宮城分館

参加議員



日小田秀之 (班長) 本田 忠 足達 寛康 中村 憲史 吉竹 悟



## 共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

意見・質問等	意見・質問等への対応
東日本大震災を経験し竹田市に移住している者だが、先の熊本・大分地震の際に近所のお年寄りの所を安否確認に廻って大変喜ばれた。自治会長にこのような面を見てもらえば高齢者の方も安心して暮らせるのではないか。	地域には自治会長や民生委員、福祉委員等の方がいますが、連携して安否確認をするように組織が作られています。
24年災の際、電線が切れてIP告知放送が全く効かなかった。テレビも映らず、このような状態が4日間も続いた。停電したらIP告知放送は役に立たないが、災害時には非常に困る。	総合グラウンドに災害時の応急システムとして風力発電施設がありますが、このようなご意見をいただくことがあり、孤立しやすい場所等に簡易な自家発電システムができないか執行部に要望します。
高齢で自治会作業にも出られず、出不足金も払えないため、自治会を離脱し、1人自治会が増えている。自治会運営にも支障を来している現状だ。	今回の共通テーマが高齢者施策と地域社会のあり方ということで、このような状況をどうしたら解決できるか研究してまいります。

地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
「竹田に来てくれ、来てくれ」と言っているが、自治会にも入らず近隣との付き合いもない移住者がいる。	市が斡旋している移住者には、自治会加入を指導しています。また、移住後、地域に早く馴染めるよう集落支援員制度を整えています。
宮城地区で昨年、元気づくり支援事業を行ったが、補助金を全部使い切ってしまうねばならなかった。事業を継続するためにも、幾分かは翌年への繰越しを認めてもらいたい。方法はないのか。	補助事業は、年度会計であり、年度内に使い切ることでなっています。
鳥獣被害が多い。捕獲しても獲物の最終処分に苦慮している。豊後大野市のような処分場を造ってもらえないか。	執行部に確認したところ、大分市を中心に設置されている「大分都市広域圏の農林水産部会」に最終処分場建設調査研究事業として提案しています。設置については多くの課題がありますが、捕獲者の意向も伺いながら、市の後年度負担を増さないよう配慮しつつ、多方面から検討する予定です。
自分は移住者だが、田んぼを1反でも借りられるようにしてもらいたい。	すでに手持ちの分と合わせて、農業振興地域内の農用地は40a以上、(農業振興地域の農用地外は10a以上)であれば購入・賃借とも可能です。なお、市の空き家バンクに登録している物件に付随した農地であれば、1a以上でも可能です。
経済が活性化することが一番だ。竹田は特に観光で頑張るしかない。城下町以外にも目を向けるべきだ。	城下町再生と同時に、萩・久住・直入地域の観光にも力を入れています。

竹田北部・荻

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 住居問題に関すること。
- 市民の声をいかに議会に反映するかは、議員の努力が必要であると思う。市民の意見が少なくなっているとは思いますが、議員の足で稼いでほしい。
- 頑張ってください。共に頑張りましょう。
- 20～30歳の方が農業、企業、その他で定着できるよう要望します。
- 生活を豊かにしてほしい。公共工事(道路地区内)が狭い場所が大半を占めている。離合できない場所が多い。
- 行政と対等な力をもつだけに、個々の議員の活動のレベルアップだけでなく、議会としての政策立案、提起が望まれる。特に、市長のトップダウンの傾向が目立つだけに、チェック機能を発揮してもらいたい。

【意見・希望等】

- 本日はありがとうございました。
- 2～3年前から、城原地区館下駐車場設置をお願いしていました。担当課に年3～4回話し合っています。自治会長にも要請しています。乗用車はバス路線に駐車しています。
- 時間的に余裕がなく、発言する機会もなかった。



荻 地域

日時 ■平成28年11月11日(金) 午後7時～  
会場 ■荻公民館

参加議員



渡辺 克己 (班長) 後藤 憲幸 徳永 信二 山村 英治



共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

意見・質問等	意見・質問等への対応
<p>荻町では、デイサービス、いきいきサロン、おしゃべりサロンが活発で楽しく過ごす高齢者は多いが、独居の方など参加できない人がある。参加させるための世話人がいない。高齢化等により地域に人材がないことが大きな課題となっている。</p>	<p>市内全般にわたる喫緊の課題であり、今後、行政と社協等が更に連携をし、課題解決ができるように要請します。</p>
<p>行政に対しての一番の要請は、暮らしのサポートセンター設立後のフォローやバックアップ体制を充実させることであり、地域の方々には、活動会員になって組織を支えてほしい。また、5年後10年後、団塊世代が後期高齢者になる時の実態を行政は厳しく捉えておいてほしい。</p>	<p>暮らしのサポートセンターの支援の在り方を検討する必要があると思われる。活動の実態を考え、どこに支援が必要か、市や社協等と検討します。</p>
<p>交通手段の問題を提起したい。コミュニティバス路線があっても不便であり、タクシーを利用して、お年寄りが連れだって通院し、買物するような実態があるが、どうにかならないものか。バス路線から外れた、運転免許を持っていない独居の方は、更に問題が切実だ。</p>	<p>高齢者の移送に関しては、行政も大きな問題としてとらえ、フォーラムや勉強会等を開催しながら、より竹田市の現状に合った移送手段を検討中です。</p>

荻

地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
<p>中九州横断道路については、当初から荻地域の農業振興を図るために、竹田から荻町を通る計画になっていた。いまさら、それを変更するなど荻町の住民は考えていない。</p>	<p>荻地域の意見としてお聞きします。 なお、竹田インターチェンジから先のルートについては決定されていません。</p>
<p>農業問題については、後継者が少ないことが一番の問題である。トマト学校で学んだ若い人は地元に着用するが、露地野菜の生産農家の後継者が少ない。</p>	<p>市でも露地野菜農家の後継者不足を危惧しています。露地野菜栽培は機械投資が大きいので、現在、担い手農家の機械導入計画の調査を実施しています。</p>
<p>地域に合った新しい作物とそれに補助事業があれば併せて提示してほしい。大蘇ダム用水の一日も早い通水を待ち望んでいる。新規用水で新たな作物をつくり、農業経営基盤の充実に努めたいと考えている。</p>	<p>荻町にも新しい作物の導入の可能性があります。土地改良・農業水利・生産する人の三つの条件がそろっています。 新規作物としては、ホップ栽培が試験的ではありますが始まっている状況です。</p>
<p>大蘇ダム用水を利用して、どのような新しいものを植え付けたらよいか、これは、地域の大きな課題だ。</p>	<p>市に新規作物の導入を求めています。</p>

意見・質問等	意見・質問等への対応
後継者には夢を抱かせる新たな農業生産の形を提示していく時期を迎えている。大蘇ダム用水を利用した農業が展開し始めると、竹田市の農業生産は飛躍的に拡大する。	市に後継者づくりの支援と個々の農業経営に合った新規作物の導入を求めています。
指導する農業技術者の優れた人材が必要だ。農業協同組合に専門的な技術や資格を持った職員がいた頃は、農家と一緒に考え、取組が進められていた。そのような指導者がいることは地元にとって大切だ。	県の指導体制の中で、大野川上流地区については、特別に専門員が配置されています。また、市においては今後とも指導体制の充実を図るべく要請していきます。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 市民の代表として地域の声を市政に反映させてもらいたいが、併せて、市の施策を地域の方へわかりやすく伝えていただき、理解が得られるよう活動を展開してほしいと思います。

【意見・希望等】

- テーマは一つにした方がよいと思う。高齢者の問題が中途半端だった。
- 市の予算の使い先をどこにウエイトを置くべきか課題にしてほしい。(子ども、学生、後継者、高齢者等)

# 久住

Kuju

**久住 地域**

日時 ■ 平成28年11月11日(金) 午後7時～

会場 ■ 久住公民館

参加議員










佐田 啓二 (班長)   足達 寛康   中村 憲史   吉竹 悟   鷺司 英彰   佐藤 美樹

共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

意見・質問等	意見・質問等への対応
最近、バス運行の時間が変わり、白丹から竹田へは1日3便しかなくなって不便だ。コミュニティバス等の支援が必要ではないか。	民間のバス運行会社は、幹線以外は廃止の方向で進めています。市内循環のバスの試験運行を行い、将来の定時・定路線運行の可能性を検討することとしています。
コミュニティバスの事業者への委託料はいくらか。	平成28年度実績では、路線バス運行委託料4,710万円、路線バス維持補助金518万円です。
バス会社に高額な委託料を支払うより、もっと他の支援を考えるべきではないか。	バス会社にとって、委託料はそれほど大きな利益となっていませんが、地域住民の希望で、なんとか廃線しないように続けています。デマンドタクシーの導入も市とタクシー協会とで協議中です。
乗り合いタクシーを運行するなら、市が助成をして、利用者の負担軽減を図ってほしい。	高齢者の足の確保は更に重要な社会的な課題と思われることから、全体的な検討を加えて対策を講じる必要があると考えています。

意見・質問等	意見・質問等への対応
家族が訪問介護を利用している。介護サービスに対して料金が安い。	国の基準価格があります。高齢化に伴い、年々介護保険料が増加傾向にあります。
暮らしのサポートセンターの草刈で1,000円掛かったがなぜか。	通常の利用料金は30分単位での計算で400円、刈払い機を使用した場合はその燃料費代として100円がプラスされるので、1時間では1,000円となります。

## 地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
数年前から地域ごとのビジョンを話し合ってきた。その中で具体的に進行している事例はあるのか。	久住町については国道442号の改良、街なかの県道改良、水稻試験場跡に住宅分譲用地の整備、登山バスの運行、三重総合高校久住校については、その存続のために全県から生徒を募集できる「大分県立竹田久住農業高校」として生まれ変わることとなりました。また、TAO総合学院構想など着実に振興策を進めています。
久住インターチェンジ構想実現のために、地元の議員に協力してほしい。	環境省は平成28年7月に、インバウンド強化のため「国立公園満喫プロジェクト」を全国の国立公園の中から8か所を選定しました。その内の1か所に阿蘇くじゅう国立公園が選定されました。このことは久住地域の今後の振興に大きな力となります。平成30年に竹田まで中九州横断道路がつながりますが、それから先のルートについては未定です。
市有林について、市と森林組合としっかり協力して維持管理をしてほしい。	議会としてもしっかり、森林保全について考えていきます。
久住町内の下水道や消火栓などの補修をしてほしい。 地震以降は特に修繕の必要がある。	市内の緊急順位によって、順次、行っていよう働きかけます。
直入荘と文化会館の建設の必要があるのか。	直入荘には地元からの強い要望があります。直入荘は民設民営、クアハウスは公設民営で市の負担を最小限にします。文化会館は文化会館部会での協議やアンケート調査を重ね、市民の意見を聞いてまいりました。ただの箱物にならないよう、どう運営するかが大事だと考え、できあがった後もしっかり注視していきます。
畜産業は事業投資が大きい。後継者の育成についてはどうしているか。	後継者に対しては、親元就農者には年60万円×3か年、後継者等が産休の代替要員を確保するための資金として申請すれば、30万円が補助されます。
後山の橋を早く直してほしい。	仮橋については昨年末に完成し、12月28日から通行できるようになりました。本橋については護岸の整備と合わせ拡幅・延長をする方向で、平成29年中の完成をめざし県と協議中です。
地域おこし協力隊の活動内容は。農業分野の隊員を増やして、花卉農業の手伝いをしてほしい。また、任期後はどうなるのか。	現在45名の協力隊員が市内で活動しています。その内、畜産が3名、藍や野菜を作る隊員は3名程です。獣害対策専門の隊員が1名います。農業分野の協力隊を増やすよう市に求めます。任期後は、畜産の3名は、竹田に定住し畜産で起業する意向があります。起業には市が補助金を出します。
子育て支援を充実してほしい。竹田に若い人が定着する政策を行ってほしい。	予防接種の無料化や子どもの医療費補助、病児・病後児保育施設の開設など、子育て支援を行っていますが、より充実に向けて要請します。久住の宅地販売、荻に10世帯、竹田に18世帯の定住促進住宅を整備します。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 行政に活かしてもらいたい。
- 高齢化が進む中、人口減であります（少数議員になりましたが頑張ってもらいたい）～高齢化社会で、地域社会のあり方を考えた活動をお願いしたい。
- 市民住民の声を吸い上げて市政に活かしてほしい。
- 市長が行きすぎたら議員さんが少し止めてもらいたい。
- 10年後、20年後のビジョンを持って対応してほしい。市長に負けないで。

【意見・希望等】

- 5年で終了する事になく、参加者が少ないのは問題ですが続けてほしい。
- 自治会長を通じ多くの参加があってほしい。
- いろんな人の意見を聞いて私自身の勉強になった。また出席したい。
- 10年後、20年後の姿が想像できない。田舎の崩壊が心配。本日の参加人数を議会の方々はどどのように受け止めているのでしょうか。
- 予算のついた案件の実行状況は見届ける必要はないのか。
- 個人的に、予算が付けば実行に向け努力してもらえと思い込んでいましたので、（地区にまとまりが悪い面があるのですが）市はあくまで予算です、との答でとてもガッカリしました。
- 住民の参加が少ないのはなぜか？



直入 地域

日時 ■平成28年11月11日(金) 午後7時～  
会場 ■直入公民館

参加議員



阿部 雅彦 (班長) 岩屋 千利 和田 幸生 本田 忠 日小田秀之



共通テーマ◆高齢者施策と地域社会のあり方について

意見・質問等	意見・質問等への対応
最近、一人自治会員が増え、自治会の機能が発揮できなくなっている。高齢者を支えるのはどうしたらよいか。また、広報などを市が直接送付しているが、必要なことなのか。検討してもらいたい。	他の会場でも同じ意見が出されています。一人自治会の問題は、議会の中や市とも協議していきます。
地元住民とのつながりができていない移住者がいる。また、子育てしやすい環境や奥様同士の出かけられる場、働く場がない。どうしたらよいか。	移住者が抱える課題への対応につきましては、市とも協議しながら、竹田市での定住促進につなげていきます。
竹田市には、多くの地域おこし協力隊員が来ているが、地域住民との交流が少ないのではないのか。	市に意見を伝えて、より改善できる方向で対応できるように要請します。
豊後大野市によるコミュニティバスが走っているが、竹田市民は利用することはできないのか。	お互いの市で運営されているコミュニティバスについては利用可能です。

意見・質問等	意見・質問等への対応
若い人が便利の良い大分などに流出している。地域で生活できるように企業誘致が必要ではないか。また、クアオルト構想による雇用が生まれることを期待しているが、タイムスケジュールを早めに出してほしい。	市にも要請をしながら、議会でも議論して更なる企業誘致を目指していきます。 クアオルト構想につきましては、直入支所に意見を伝え、要望への対応を求めています。

## 地域テーマ◆地域振興について

意見・質問等	意見・質問等への対応
下竹田の山村交流センターは、水の駅おづるに近いし、何か有効活用を望みたい。	直入支所に要望として伝えます。
中九州横断道路(朝地～竹田間)が近く開通する予定だが、直入地区の振興策は考えているのか。	平成30年度の開通に向けて順調に計画が推移しています。長年の懸案だった県道竹田直入線(植木工区)の工事も進んでおり、中九州道の開通に間に合わせるということなので、更に利便性が増すと考えています。
地域振興を進める上で、若い人たちの意見を聞くことが大事だが、何か良い事例や情報があれば教えてほしい。	議会の中でも協議し、意見を聞く場を考えていきます。
病院や福祉施設は人手が足りない。人の確保ができなければ、閉鎖しなければならない部署も出てくる。この問題はどこも困っている。移送サービスもしたいと以前から考えており、免許は取得したが許可が下りない状況である。何か良い事例や方法はないのか。	市や竹田市社会福祉協議会とも協議しながら、議会の中でも議論していきます。

## 【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

## 【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- このような会をまた開催していただきたい。議員さんとの距離が近くなった気がします。
- 市民の意見を取り入れようとするのはわかるが、あまりにも参加者が少ないと思いました。せめて、自治会長等には、案内文を出すなど、市民の意見をもう少し聞けるようにした方がよいと思いました。
- 市民の小さな意見を汲み取ることは難しいと思いますが、できるだけいい方向に変えていただきたいと思います。大きな道筋を見い出してください。
- 市民と行政のかけはし。行政区のかきねを越えるかけはし。地域活動、財産を守る予算獲得。

## 【意見・希望等】

- 移送サービスについて、よろしく願います。これから10年後の直入町をよろしく願います。
- 市民の代表として、もう少し行政に意見をしてもらいたい。高齢者施策についても、慌てているように感じます。もう少し早く取組ができなかったのかと思いました。
- 貴重な意見交換会は、できるだけ多くの人に来ていただきたいかったので、周知の方法を考えた方がよいと思いました。
- テーマの内容をもっと具体的にした方がよいと思いました。
- 参加者が少なかったが続けてほしい。